

令和3年3月10日

足立区立東湊江小学校

学校長 西澤 武 様

足立区立東湊江小学校 開かれた学校づくり協議会

会長 村越 茂

令和2年度 学校関係者評価書

1 自己評価書全般について

学校経営計画に示されているとおり、東湊江小学校は、「やさしい子・げんきな子・かんがえる子」の育成に向けて、特に学力の向上、児童がより安全に、安心して学ぶことができる環境の確立、保護者や地域と共に子供を育む学校作りの推進の3点に重点を置き、教育活動に取り組まれました。

学力について、区調査では、国語・算数合計で通過率80%を超え、前年度の75%を上回りました。その後、通過率に達成しなかった20%の児童を中心に全学年で取組んだ放課後補習の「はなまる教室」に取り組み、12月の調査では、87%の通過率となりました。足立スタンダードに沿った授業実践や、算数の校内研究など、先生方の取り組みの成果が結果として表れたのでしょう。今後も区・都・国の学力調査結果を生かして放課後補充教室を充実したり、ベテランの先生方の授業技術を若手の先生方の育成に生かして授業力向上を図ったりすることを通して、子供たちの学力向上に、今後も取り組んでください。

児童がより安全に、安心して学ぶことができる環境を確立することについては、いじめの早期発見、早期解決に確実に取り組み、子供たちにとって安心できる環境づくりに尽力されていることがわかりました。引き続き「いじめゼロ」を目指し、組織的な取組の充実を図ってください。

全教職員により施設点検が適切に行われ、修繕等に迅速に対応されていること、ありがとうございます。施設設備の老朽化への対応は、地域からもお願いしているところです。ご苦労をおかけしますが児童の安全第一に維持管理をよろしくお願いします。

保護者や地域と共に子供を育む学校づくりでは、特にPTAと学校との協働体制が充実し、互いの交流も盛んになってきているようです。今年度はコロナ禍にもおいてもPTAによる朝のあいさつ運動を継続されたことは、素晴らしいことです。マスク越しでも子供たちがすすんで挨拶をする姿が見られました。今後も、教員と保護者が手を携えてあいさつ運動を更に盛り上げ、元気で明るく挨拶ができる子供たちの育成にご尽力ください。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

学校が最重要課題として挙げた学力向上について、とりわけ基礎的・基本的な学習内容をしっかりと身に付けさせることがすべての子供たちに必要不可欠なことであると考えます。次年度には、放課後の補充教室の更なる充実、より効率的で効果的な指導方法について組織的に研究を深めてほしいと考えます。

また、学校はゲストティーチャーを活用した授業や校外学習等の体験的活動の充実を図ってきました。開かれた学校づくり協議会としても、「東湊江の昔の話」の授業を受け持つことを楽しみにしておりましたが、緊急事態宣言により実施できず残念です。体験的な学びは、子供たちの生きる力を育む大切な学習です。今後も引き続き多くの機会を作ってください。

3 その他

歴史と伝統のある本校は、地域の人々に愛され大切にされている学校です。来年度はいよいよ110周年を迎えます。学校と地域と保護者が密に連携を図りながら110周年記念事業を成功させ、新たな歴史の1ページを作っていきましょう。